

令和6年6月29日(土)～30日(日)

第140回 総会及び研究会開催 於：広島修道大学

令和6年6月29日～30日に、広島修道大学において総会及び研究会が、両日とも60名の会員の参加の下、開催された。

【第1日目】

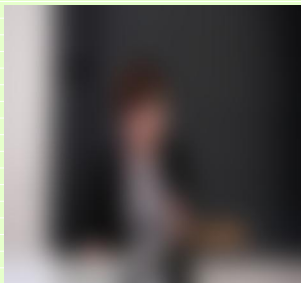
松野民雄理事長による開催の辞の後、午前の部の個人報告が開始された。

松野民雄理事長

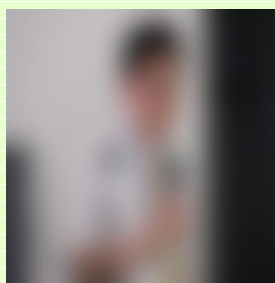
第1報告は、孟慶廉会員（京都産業大学大学院）による「中国法における未成年者の法的地位」であった。第2報告は、有嶋咲会員（明海大学）による「人の死に関する賃貸不動産の心理的瑕疵—国交省のガイドライン策定を契機として—」が発表された。その後、昼食・理事会を挟み、総会が催された。午後の部では、シンポジウム「日本法政学会・広島サミット」が開催された。まず、総合司会の倉田賀世会員（熊本大学）の挨拶から始まり、神元隆賢会員（北海学園大学）のよる企画趣旨の説明がなされた。そして、藤野次史氏（広島大学名誉教授）による基調講演「広島市における戦争遺跡の現状と課題」が開催された。

孟慶廉会員

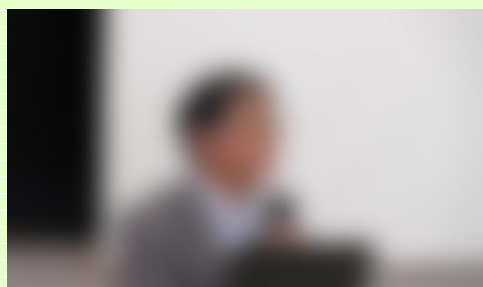
有嶋咲会員



倉田賀世会員



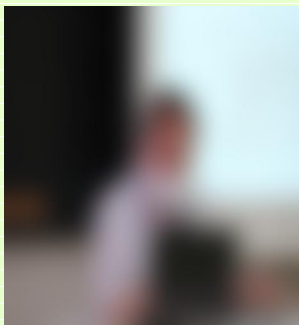
神元隆賢会員



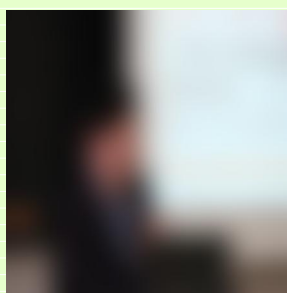
藤野次史氏

その後、シンポジストによる発表へと続き、山崎将文会員（京都橘大学）による「憲法から

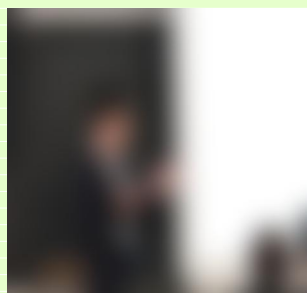
見た広島サミット」、飯塚智規会員（城西大学）による防災政策に置ける広島県と県内市町の自治体間連携」、松浦淳介会員（慶應義塾大学）のよる「岸田政権とは何か—その人



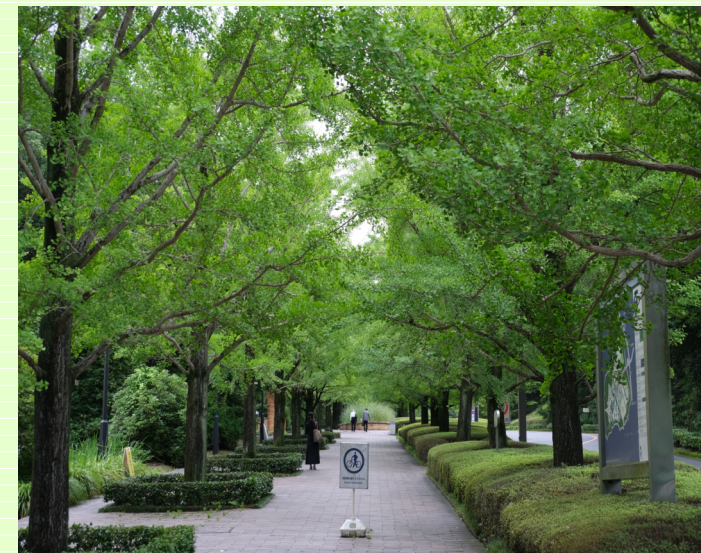
山崎将文会員



飯塚智規会員

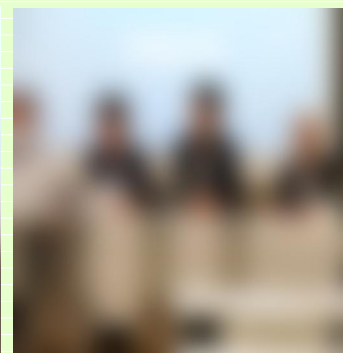
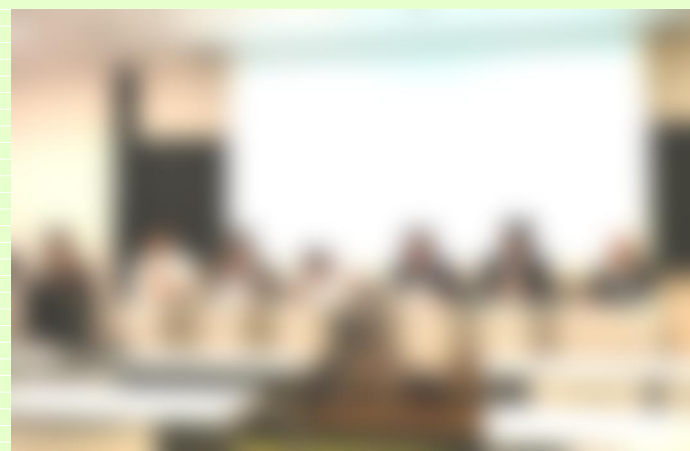


松浦淳介会員



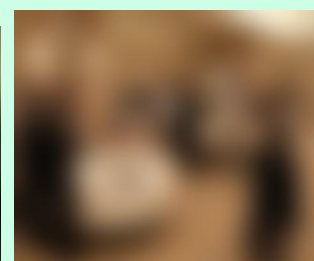
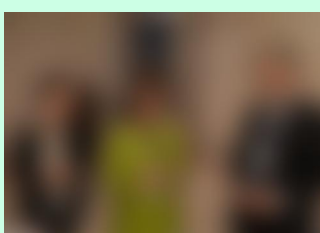
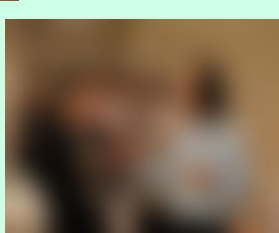
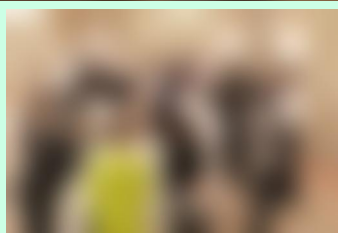
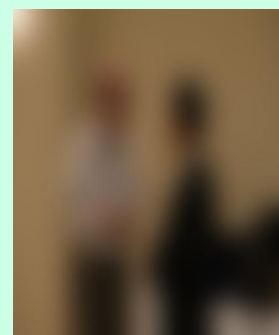
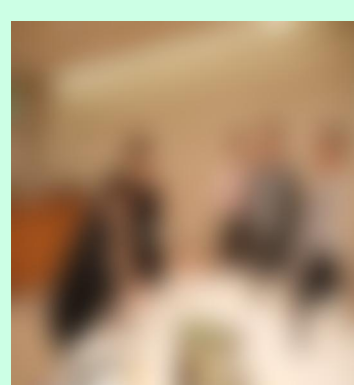
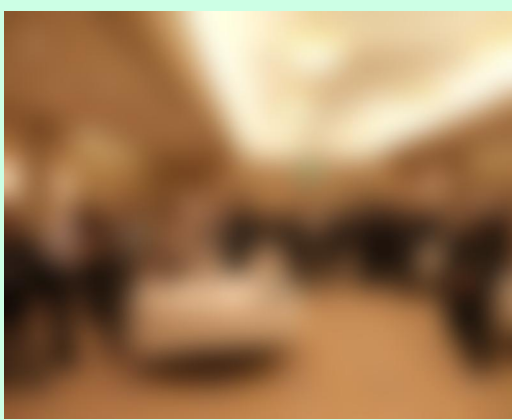
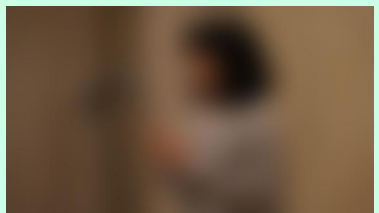
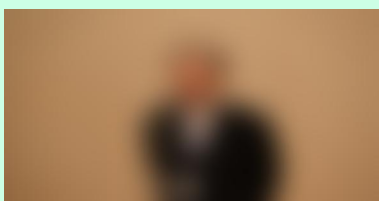
▲大学正門から会場へと続くハーモニーロード

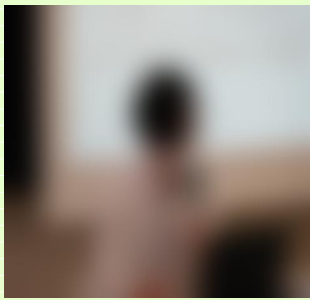
事と国会運営—」が発表された。その後、質疑応答へと移り、会場から多くの質問が寄せられた。最後に、コメンテーターの林弘正会員（島根大学）の総括によりシンポジウムは終了した。



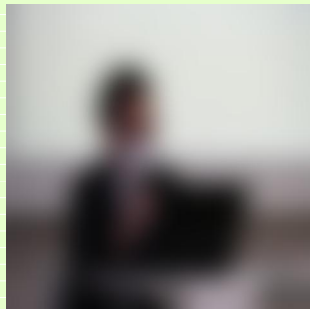
質疑応答への様子

懇親会（於：リーガロイヤルホテル広島）

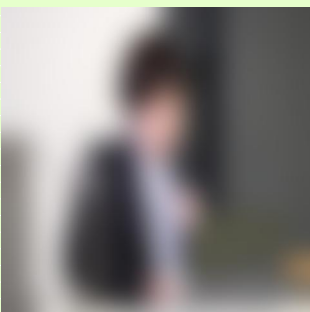




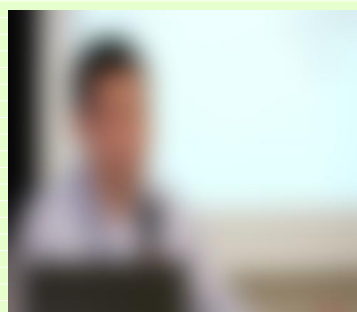
本多祥大会員



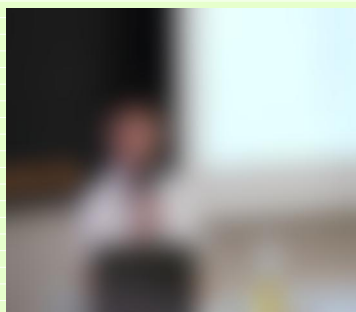
渡辺耕治会員



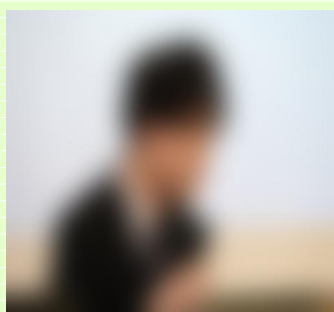
青木望美会員



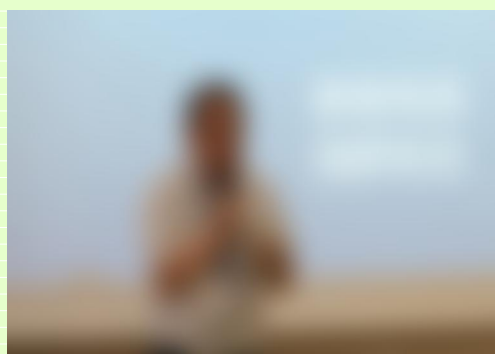
根岸忠会員



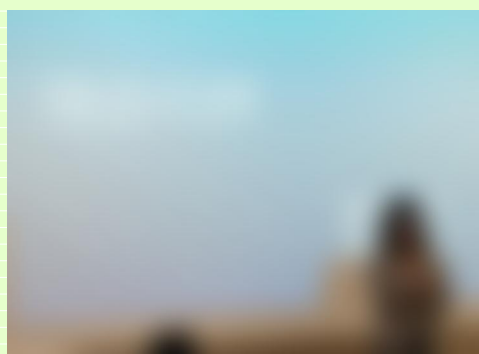
近藤正利会員



大辻航暉会員



浅野和生事務局長



宮畑加奈子会員

事務局より

1 理事選挙について

9月に理事選挙が開催されます。9月上旬に、有権者となる会員の皆様に、投票用紙その他の関係文書を送付いたします。投票用紙の提出期限をご確認いただき、期限内に投票していただけますようお願いいたします。

2 次回学会について

第141回は、令和6年10月26日（土）～27日（日）に日本大学法学部（〒101-8375 東京都千代田区神田三崎町2丁目3-1）で開催いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【第2日目】

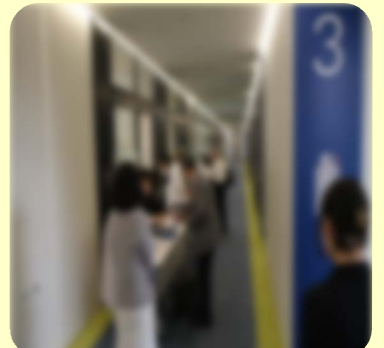
10時より個人報告が再開され、第3報告は、本多祥大会員（日本大学大学院）による「治水政策に関するリスクコミュニケーションとリスクジャーナリズム～熊本県川辺ダムの建設に関する新聞報道の内容分析～」であった。第4報告は、渡辺耕治会員（日台関係研究会事務局）による「習近平政権の対台湾政策：蔡英文政権時代を中心に」であった。第5報告は、青木望美会員（中央大学）による「海域に設定される公園をめぐる規範の現段階―第7回世界公園会議に向けて―」であった。

その後、昼食・理事会開催を挟み、午後の部へと入っていった。まず、第6報告は、根岸忠会員（高知県立大学）による「台湾における外国人の受入れ拡大と社会保障法適用のあり方」であった。続いて、第7報告は、近藤正利会員（日本銀行）による「キャッシュレス決済の法制度に関する一考察」であった。そして、第8報は、大辻航暉会員（日本大学大学院）による「海面上昇による海洋地形の法的地位の変化についての予備的検討―議論枠組みの構築を目指して―」で、予定された個人報告はすべて終了した。その後、浅野和生事務局長による閉会の辞と宮畑加奈子会員（広島経済大学）の挨拶で、日本法政学会第140回総会及び研究会はすべての日程を終了し、幕を閉じた。

学会でのヒトトキ



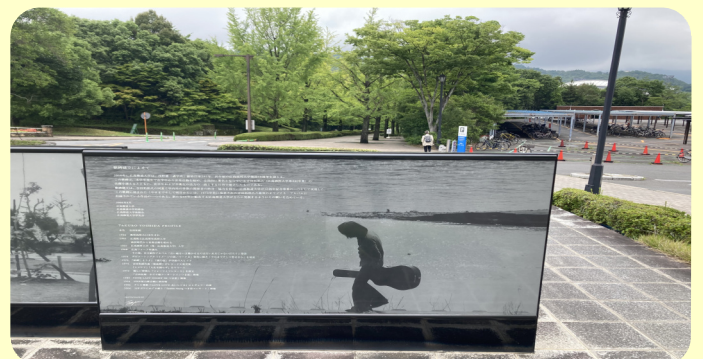
▲会場となった「協創館」



▲受付の様子



ご用意していただいたお昼のお弁当は非常に美味でした！！



広島修道大学といえばやはりこの方、“吉田拓郎”さん

編集後記

会場となった広島修道大学は、非常に自然豊かな場所に位置し、キャンパス内で野生の動物たちに出会えるらしく、ペット法を研究する私にとっては魅力ある大学でした（残念ながら動物たちには出会えませんでした。参加された先生からはタヌキをみたとの報告がありました）。このような素敵な場所での学会開催が無事成功となりましたのは、開催校幹事であります柳生一成先生、宮畑加奈子先生そして、大学関係者皆様のお陰です。厚く御礼申し上げます。

それでは、酷暑がまだまだ続いています。皆さま、熱中症対策など万全にお過ごしください。

広報委員会幹事
牧野高志（平成国際大学）

【日本法学会 学会通信 第5号】

発行日：2024年9月

発行：日本法政学会（事務局：埼玉県加須市水深大立野2000 平成国際大学浅野研究室）

電話：0480-66-2100（代表）

FAX：0480-65-2101